

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 SEホールディングス・アンド・インキュベーション 上場取引所 東  
 ヨンズ株式会社  
 コード番号 9478 URL http://www.sehi.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 速水 浩二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部 部長 (氏名) 松村 真一 (TEL) 03-5362-3700  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,005	△4.8	363	224.1	296	750.8	227	—
27年3月期第3四半期	5,256	△4.7	112	△53.1	34	△80.8	2	△97.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 155百万円(91.9%) 27年3月期第3四半期 81百万円(△19.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	9.72	—
27年3月期第3四半期	0.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	9,071	4,153	45.8
27年3月期	9,844	4,532	42.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 4,151百万円 27年3月期 4,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	1.40	1.40
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	1.40	1.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,000	△2.6	380	107.1	300	275.3	300	—
								12.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 1社(社名) 株式会社システム・テクノロジー・アイ

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	23,484,226株	27年3月期	23,484,226株
28年3月期3Q	319,950株	27年3月期	600株
28年3月期3Q	23,368,333株	27年3月期3Q	23,483,994株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による輸出企業の好調な業績などを背景に緩やかな景気回復基調で推移いたしました。足許では、中国景気の減速鮮明化、米国利上げや原油価格低迷などによる新興・資源国景気下振れ懸念など主に海外要因により、景気の先行き不透明感が増してきました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高5,005百万円(前年同期比4.8%減)、営業利益363百万円(前年同期比224.1%増)、経常利益296百万円(前年同期比750.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益227百万円(前年同期比85.4倍)となりました。

セグメント別の業績については以下の通りです。

出版事業におきましては、広告収入が期を通じて好調で電子書籍販売も上半期において好調だった反面、期初における書店店頭販売減少の影響もあり、売上高は1,872百万円(前年同期比0.3%減)と前年同期並みになりました。利益面では、計画的な新刊書籍の刊行及び物流効率化による書籍保管料削減などにより、セグメント利益(営業利益)229百万円(前年同期比28.7%増)と増益になりました。

コーポレートサービス事業におきましては、クライアントからの引き合いが昨年秋口以降弱含みで推移したこと、及び制作スタッフ充実などの先行投資により、売上高597百万円(前年同期比5.2%減)、セグメント利益(営業利益)45百万円(前年同期比47.1%減)となりました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、スマートフォンコンテンツ事業及びオンラインゲーム事業が期を通じて好調を維持し、売上高1,036百万円(前年同期比4.6%減)、セグメント利益(営業利益)184百万円(前年同期比386.9%増)と大幅増益になりました。

インターネットカフェ事業におきましては、不採算店舗の閉鎖、管理者層の育成、及び全社的なコスト削減努力などにより、売上高841百万円(前年同期比7.1%減)、セグメント利益(営業利益)21百万円(前年同期比401.8%増)と大幅増益になりました。

教育・人材事業におきましては、当第3四半期連結会計期間の期初より、不採算であった株式会社システム・テクノロジー・アイの業績を株式譲渡により連結対象から除外したこと、及び同期間において完全子会社化した株式会社SEプラスの医療人材紹介事業、研修事業などが総じて好調に推移したことにより、売上高588百万円(前年同期比16.8%減)、セグメント利益(営業利益)21百万円(前年同期はセグメント損失25百万円)と大幅増益になりました。

投資運用事業におきましては、保有債券の償還や利息・配当金収入の増加などにより、売上高68百万円(前年同期比42.6%増)、セグメント利益(営業利益)41百万円(前年同期比68.3%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金332百万円減少並びに受取手形及び売掛金314百万円減少を主因に、前連結会計年度末比772百万円減の9,071百万円となりました。負債については、未払法人税等116百万円増加、有利子負債246百万円減少、流動負債その他158百万円減少及び買掛金99百万円減少を主因に、前連結会計年度末比393百万円減の4,918百万円となりました。純資産については、非支配株主持分354百万円減少を主因に、前連結会計年度末比378百万円減の4,153百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月9日付で開示いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」の内容のとおり、スマートフォンコンテンツ・オンラインゲーム事業等の状況及び当社特定子会社であった株式会社システム・テクノロジー・アイの業績を連結対象から除外したことなどを勘案し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきまして、平成27年10月23日に公表いたしました平成28年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正致しました。

## ■平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)	1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,300	350	250	150	6.43
今回発表予想(B)	7,000	380	300	300	12.87
増減額(B-A)	△300	30	50	150	—
増減率(%)	△4.1	8.6	20.0	100.0	—
(ご参考)前期連結実績 (平成27年3月期)	7,183	183	79	△26	△1.14

## (業績等の予想に関する注意事項)

上記の業績等の予想数字につきましては現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして実際の業績等は、業況の変化などにより、上記業績予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、株式会社ブイキューブが実施した当社特定子会社の株式会社システム・テクノロジー・アイ(以下「STI」という。)株式に対する公開買付けに対し、当社が保有するSTI株式の全てを応募し、同公開買付けが成立したことに伴い、STIは当社の連結子会社に該当しないこととなりました。

なお、同期間において、STIが保有していた当社孫会社の株式会社SEプラス(以下「SEP」という。)の発行済株式全部を当社がSTIから譲受したことから、SEPは当社の完全子会社となりました。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い  
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定  
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方  
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更  
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、  
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58—2項(4)、連結会計基準第44—5項(4)及び事  
業分離等会計基準第57—4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から  
将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6百万円  
増加しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が82百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,973	2,640
受取手形及び売掛金	1,525	1,211
有価証券	20	10
営業投資有価証券	1,128	1,212
商品及び製品	919	887
仕掛品	96	130
原材料及び貯蔵品	21	18
繰延税金資産	59	42
その他	112	72
貸倒引当金	△0	△3
流動資産合計	6,858	6,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,618	1,520
減価償却累計額	△866	△806
建物及び構築物(純額)	751	713
土地	1,089	1,089
その他	897	740
減価償却累計額	△799	△663
その他(純額)	97	77
有形固定資産合計	1,938	1,880
無形固定資産		
のれん	1	-
その他	57	51
無形固定資産合計	58	51
投資その他の資産		
投資有価証券	315	261
敷金及び保証金	419	384
繰延税金資産	114	135
その他	147	155
貸倒引当金	△7	△19
投資その他の資産合計	988	917
固定資産合計	2,986	2,850
資産合計	9,844	9,071

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	440	341
1年内償還予定の社債	775	375
短期借入金	1,172	1,177
未払法人税等	25	142
賞与引当金	34	20
返品調整引当金	101	116
その他	617	458
流動負債合計	3,167	2,631
固定負債		
社債	811	1,044
長期借入金	853	768
役員退職慰労引当金	78	81
退職給付に係る負債	264	278
資産除去債務	29	27
再評価に係る繰延税金負債	7	7
その他	100	79
固定負債合計	2,144	2,287
負債合計	5,312	4,918
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,534	1,534
資本剰余金	1,853	1,771
利益剰余金	504	698
自己株式	△0	△60
株主資本合計	3,892	3,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	191
土地再評価差額金	16	16
その他の包括利益累計額合計	278	207
新株予約権	4	-
非支配株主持分	356	1
純資産合計	4,532	4,153
負債純資産合計	9,844	9,071

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	5,256	5,005
売上原価	3,238	3,028
売上総利益	2,017	1,977
返品調整引当金繰入額	-	14
返品調整引当金戻入額	15	-
差引売上総利益	2,033	1,962
販売費及び一般管理費	1,921	1,599
営業利益	112	363
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
受取家賃	1	3
償却債権取立益	-	1
その他	4	7
営業外収益合計	8	14
営業外費用		
支払利息	32	29
社債発行費	15	19
支払保証料	10	8
為替差損	17	1
その他	8	22
営業外費用合計	85	80
経常利益	34	296
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	-	5
子会社株式売却益	-	190
新株予約権戻入益	0	0
持分変動利益	0	-
特別利益合計	0	198
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	4	4
投資有価証券評価損	-	0
減損損失	-	3
店舗撤退損失	-	22
のれん償却額	-	0
事務所移転費用	-	1
倉庫移転費用	-	9
特別損失合計	4	43
税金等調整前四半期純利益	31	451
法人税、住民税及び事業税	23	174
法人税等調整額	25	49
法人税等合計	49	224
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△17	226
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2	227

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△17	226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	△71
土地再評価差額金	-	0
その他の包括利益合計	98	△71
四半期包括利益	81	155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101	155
非支配株主に係る四半期包括利益	△20	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成26年6月20日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	32	1.40	平成26年3月31日	平成26年6月23日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成27年6月19日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	32	1.40	平成27年3月31日	平成27年6月22日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、第2四半期連結会計期間において、東京証券取引所における市場買付により319,300株の自己株式を取得した結果、自己株式が59百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が60百万円となっております。又、平成27年11月10日付で、当社特定子会社であった株式会社システム・テクノロジー・アイが保有していた当社孫会社株式会社SEプラスの発行済株式全部を同社から譲受し、株式会社SEプラスは当社完全子会社となりました(従前の間接持株比率は53.48%)。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が77百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,771百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	インター ネット カフェ	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	1,878	631	1,086	904	707	48	5,256	—	5,256
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	37	2	55	—	8	—	104	△104	—
計	1,915	633	1,142	904	716	48	5,360	△104	5,256
セグメント利益又は セグメント損失(△)	178	85	37	4	△25	24	305	△193	112

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△193百万円には、セグメント間の内部取引消去32百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△226百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「有価証券投資事業」について量的な重要性が増したため、事業名称を「投資運用事業」と変更した上で、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	インター ネット カフェ	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	1,872	597	1,036	841	588	68	5,005	—	5,005
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	29	0	38	—	7	—	75	△75	—
計	1,902	598	1,074	841	596	68	5,080	△75	5,005
セグメント利益	229	45	184	21	21	41	544	△181	363

(注) 1 セグメント利益の調整額△181百万円には、セグメント間の内部取引消去32百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△213百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の減少による資産の著しい減少)

当第3四半期連結会計期間において、当社保有の株式会社システム・テクノロジー・アイの全株式を売却し、連結の範囲から除外したことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「教育・人材」のセグメント資産が777百万円減少しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。